

ミナト・ヨコハマで建築探偵

実施日：2023年12月16日

コース：桜木町駅→横浜市庁舎→※→横浜第二合同庁舎→県立歴史博物館→開港記念会館(WC)
→神奈川県庁→横浜情報文化センター→横浜都市発展記念館→横浜開港資料館→ホテル
ニューグランド→元町・中華街駅（解散・12時半頃）

	見所	由来・史跡
1	横浜市庁舎	8代目庁舎として、北仲通南地区に地上32階、地下2階、高さ155.4mの新庁舎を建設。令和2年(2020)1月竣工、6月に全面的に供用を開始した。
※	ミステリー	団体での利用ができないため、エレベーター46に到着したら、フロアを左回りに一周したのち、必ず指定時刻までに1階出入口前へ戻ってください。
2	横浜第二合同庁舎	旧・生糸検査所。震災後の再建設は横浜ゆかりの建築家・遠藤於菟。大正15年(1926)に竣工。昭和6年(1931)に増築され、戦前の横浜最大の建物として、キーケンの愛称で呼び親しまれた。
3	県立歴史博物館	旧・横浜正金銀行本店。設計は明治建築界の巨頭・妻木頼黄。明治37年(1906)に竣工。その堅牢さゆえ5年の工期を要したが、震災では屋根を焼失しただけだった。昭和42年(1967)に神奈川県立博物館となった。
4	開港記念会館	横浜商人の町会所があった場所。開港50周年を記念して、設計は公開コンペ、建設費は今でいうクラウド・ファンディングで、大正6年に竣工。
5	神奈川県庁	震災復興建築の一つ。開港時、ここに神奈川運上所（税関）があった。公募による設計で、帝冠様式の初期建築。昭和3年(1928)に竣工。
6	横浜情報文化センター	旧・横浜商工奨励館。昭和4年(1929)竣工。横浜市建築課が設計。平成12年(2000)高層棟を増築し、旧建物は保全・改修された。
7	横浜都市発展記念館	旧・横浜中央電話局。改築計画中に関東大震災が起こったため、現在の設計に変更され、昭和4年に竣工。平成12年に保全・改修された。
8	横浜開港資料館	旧・英国領事館。嘉永7年(1854)に日米和親条約が締結された場所に建つ。設計は英国工務省。外観は18世紀のジョージアンスタイル。昭和6年(1931)に竣工。昭和47年(1972)に廃止されるまで利用された。
9	ホテルニューグランド	震災により市内の多くのホテルが倒壊焼失したため、横浜市復興計画の一環として建設。設計は銀座和光を手がけた渡辺仁。昭和2年竣工。

* コースは歩道が狭い場所もあるので、横に広がらないようにご協力をお願いします。

〈次回案内〉 瀬谷八福神（半日コース約6km、一日コース約9km）

日時：2024年1月6日（土）相鉄線 瀬谷駅北口広場 集合 9時～15分受付

スタッフ 募 集 中！

問い合わせ先：せや・ガイドの会 竹見（☎090-3900-6469）まで

ホームページ「せや・ガイドの会」で [検索]

